【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【公表番号】特表2002-539868(P2002-539868A)
【公表日】平成14年11月26日(2002.11.26)
【出願番号】特願2000-606826(P2000-606826)
【国際特許分類】
Ｄ０６Ｆ　43/00　　(2006.01)
Ｄ０６Ｆ　43/08　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｄ０６Ｆ　43/00　　Ｚ
Ｄ０６Ｆ　43/08　　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成19年3月7日(2007.3.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　処理容器（１０）、高密化処理ガスの供給タンク（１８）、及び蒸発容器（３６）を具備し、これらの空間が適当な管路によって互いに接続されて、これら異なる空間の間の圧力均衡化、前記供給タンク（１８）からの液状処理ガスによる前記処理容器（１０）の充填、及び前記処理容器（１０）から前記蒸発容器への液状処理ガスの排出を可能にし、また前記蒸発容器（３６）中の高密化処理ガスを気体状にし、凝縮手段（４４）を経由させて供給タンク（１８）に戻す蒸留段階の一部において、駆動手段を構成するように配置された圧縮手段（４６）を備え、この圧縮手段（４６）が、気体処理ガスを本質的にほぼ完全に前記処理容器（１０）から排出させるためにも使用される、高密化液状処理ガスでの布帛品の清浄化装置であって、前記凝縮手段（４４）が、前記蒸発容器（３６）に熱的に接触しており、また前記圧縮手段が前記凝縮手段と組み合わされて、前記蒸発器中の液体の蒸発に必要とされる熱エネルギーを単独で供給することを意図した熱ポンプを作っていることを特徴とする、高密化液状処理ガスでの布帛品の清浄化装置。
【請求項２】　前記蒸発容器（３６）を前記供給タンク（１８）に接続する前記管路に、追加の熱交換器（６２）が配置されていることを特徴とする、請求項１に記載の装置。
【請求項３】　前記供給タンク（１８）が前記処理容器（１０）よりも高い位置に配置されており、且つこの処理容器（１０）が前記蒸発容器（３６）よりも高い位置に配置されていて、それによって重力で液状処理ガスを、前記供給タンク（１８）から前記処理容器（１０）に、及び前記処理容器（１０）から前記蒸発容器（３６）に送れることを特徴とする、請求項１又は２に記載の装置。
【請求項４】　前記液状処理ガスが二酸化炭素で構成されていることを特徴とする、請求項１～３のいずれかに記載の装置。
【請求項５】　前記処理容器（１０）が前記蒸発容器をも構成するように適合されていることを特徴とする、請求項１に記載の装置。
【請求項６】　前記凝縮手段（８０、８２）が、前記処理容器（１０）と熱的に接触していることを特徴とする、請求項５に記載の装置。
【請求項７】　前記凝縮手段が、前記処理容器（１０）の底部にある容器（８０）を含む熱交換器によって構成されており、且つこの容器（８０）の内側が、前記処理容器の

内側に流体連絡しており、また管路（８２）がこの容器（８０）を通っており、蒸発の間に、処理容器（１０）から圧縮機（４６）を経由して送られる気体二酸化炭素を凝縮させることを特徴とする、請求項６に記載の装置。